

阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター

防災研修実施(2月3日・日)

弥生が丘自治会防災部
弥生が丘地域自主防災会共催

兵庫県広域防災センター

Hyogo Prefectural Emergency Management and Training Center

平成30年度 ~防災研修~ 参加者36名



災害はいつやってくるかわかりません。災害が起きた時、いかに被害を少なくするか、つまり日頃より「減災」の心構えを持つことがポイントとなります。災害に備え「まず自分でできることをする、しておくこと(自助)」「向こう三軒両隣の助け合いの心構え(近助)」が被害の最小化に結びつきます。

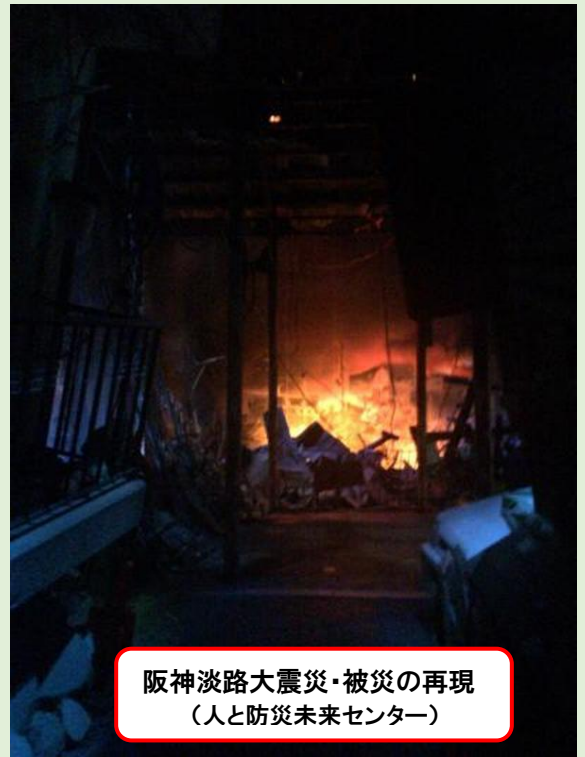
私たち参加者36名は、今回2つの研修施設の視察・体験で多くのことを学び、防災に対する認識を新たにしました。

今回の経験等を活かし、もう一度地域の防災体制を見直し、安全・安心が担保された弥生が丘のまちづくりに向け取り組んでゆく決意をしました。



阪神淡路大震災、東日本大震災(大津波)の生々しい記録映像(兵庫県広域防災センター)

阪神淡路大震災、東日本大震災の記録のパネル展示(人と防災未来センター)



阪神淡路大震災・被災の再現(人と防災未来センター)



起震車体験

震度7の揺れ 椅子は固定なし！
固定されている机にしがみ付くだけ

(兵庫県広域防災センター)

左・中・右の3つのパーツで
組み立てられているボート
(兵庫県広域防災センター)



災害に備えての備蓄倉庫は
「兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場」の
バックスタンドと、サイドスタンドの下に設置
(兵庫県広域防災センター)



■ 備蓄内容一覧 H30・4・1 現在

物資区分	数量
食料(α化米)	28,650食
毛布	64,566枚
ビニールシート	3,825枚
仮設トイレ	749基
仮設風呂	15台
紙おむつ	45,770枚
人命救助システム	21セット
船外機付ボート	8艇
パール	5,988本

- 個人用資機材 (1セット各25個)
レスキューベルト、レスキューリュック、スリングロープ、
多用途ナイフ、ピック付おの、特殊作業手袋
- 分隊用資機材 (1セット各2個)
捜査用投光機、救助用ロープ、携帯式便所、エンジンカッター
チェーンソー、油圧式ジャッキ、油圧式カッター等
- 小隊用資機材 (1セット各1個)
救助作業用照度具、エンジン式刈草機、エアジャッキ等

物資区分	数量
テント	397張
ローラコンベア	45本
台車	78台
投光機	3台
発電機	3台
フォークリフト	5台
要員用仮設トイレ	45基
簡易ベッド	150台
パレット	5,667枚
携帯型無線機	6台
衛星携帯電話	2台
トランシーバー	24台

三木総合防災公園

(参加者の声・感想)

- ① 研修に参加する前は正直「何で日曜日にわざわざ研修に・・・？」と
思っていました。ところが研修が終わってみて「いい体験ができて本
当に良かった」と素直に感じています。来年度もぜひ継続して実施し
て下さい。多くの方々に参加いただき防災の大切さを自覚していただ
きたいと思います。防災部の役員の皆様ご苦労様でした。
- ② 阪神淡路大震災の時、須磨区で被災した一人です。あれから20数
年経ち、当時のことはすっかり忘れかけていました。今回参加して
震災の怖さが改めてよみがえってきました。阪神淡路大震災の被災
体験や、東日本大震災時の津波の恐ろしさ等、風化させず子どもた
ちに語り継いで行きたいです。
- ③ 阪神淡路大震災のリアルな映像、東日本大震災時に実際撮影された大
津波の映像には思わず目をつむってしまいました。貴重な体験ができ
ました。ありがとうございました。
- ④ 煙道体験は全く方向がわからず本当に外へ出られるかと思いました。
起震車の震度7の揺れの体験は、本当にあったらと思うとゾッとしま
した。